

# 慰灵东京

哀悼する東京

中国人遗骨发掘六十周年共同慰灵祭

花冈受难者联谊会  
花冈和平友好基金管理委员会 编



06



社会科学文献出版社  
SOCIAL SCIENCES ACADEMIC PRESS (CHINA)

哀悼する東京

# 慰灵东京

中国人遗骨发掘六十周年共同慰灵祭

花冈受难者联谊会

花冈和平友好基金管理委员会

编



社会科学文献出版社  
SOCIAL SCIENCES ACADEMIC PRESS (CHINA)

## 图书在版编目 (CIP) 数据

慰灵东京: 中国人遗骨发掘六十周年共同慰灵祭/花冈受难者联谊会, 花冈和平友好基金管理委员会编. —北京: 社会科学文献出版社, 2010. 5

ISBN 978 - 7 - 5097 - 1309 - 9

I. ①慰… II. ①花… ②花… III. ①花冈惨案 - 史料  
IV. ①K265. 906

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 021820 号

## 慰灵东京

——中国人遗骨发掘六十周年共同慰灵祭

---

编 者 / 花冈受难者联谊会  
花冈和平友好基金管理委员会

---

出 版 人 / 谢寿光  
总 编 辑 / 邹东涛  
出 版 者 / 社会科学文献出版社  
地 址 / 北京市西城区北三环中路甲 29 号院 3 号楼华龙大厦  
邮 政 编 码 / 100029  
网 址 / <http://www.ssap.com.cn>  
网 站 支 持 / (010) 59367077  
责 任 部 门 / 人文科学图书事业部 (010) 59367215  
电 子 信 箱 / [bianjibu@ssap.cn](mailto:bianjibu@ssap.cn)  
项 目 经 理 / 宋月华  
责 任 编 辑 / 胡 亮 侯培岭  
责 任 校 对 / 谢 敏  
责 任 印 制 / 岳 阳 郭 妍 吴 波

---

总 经 销 / 社会科学文献出版社发行部  
(010) 59367080 59367097  
经 销 / 各地书店  
读 者 服 务 / 读者服务中心 (010) 59367028  
排 版 / 吾文工作室  
印 刷 / 北京千鹤印刷有限公司

---

开 本 / 787mm × 1092mm 1/16  
印 张 / 15.25 字数 / 137 千字  
版 次 / 2010 年 5 月第 1 版  
印 次 / 2010 年 5 月第 1 次印刷

---

书 号 / ISBN 978 - 7 - 5097 - 1309 - 9  
定 价 / 59.00 元

---

本书如有破损、缺页、装订错误,  
请与本社读者服务中心联系更换



版权所有 翻印必究

2000年11月29日,花冈诉讼案以和解形式获得全面解决。日本鹿岛建设公司通过中国红十字会向受害者提供了5亿日元的赔偿金,在此基础上成立了“花冈和平友好基金”。2000年12月29日,花冈诉讼原告团在北京召开会议,选出了“花冈和平友好基金管理委员会”委员,委员中除了有“花冈受难者联谊会”代表、中国红十字会秘书长等中方代表外,还有花冈诉讼律师团等日方代表。

# 死者的恨 生者的耻

旅日华侨中日交流促进会秘书长 林伯耀

2008年5月,胡锦涛主席访日,和福田康夫首相会谈后,发表了中日两国政府之间的“中日关于全面推进战略互惠关系的联合声明”。其中,声明要“双方决心正视历史,面向未来,不断开创中日战略互惠关系新局面。双方将不断增进相互理解和相互信任,扩大互利合作,使中日关系的发展方向与世界发展潮流相一致,共同开创亚太地区和世界的美好未来,巩固未来中日关系的基础”。为了两国能够世代友好下去,两国政府首脑必须承认正确面对历史的必要性。

被强掳到日本的135个工地的4万名中国人中,有7000多名因遭受日本军国主义者的残酷虐待和非人道的待遇,惨死在异国他乡。不知有多少人家破人亡、妻离子散。他们遭受创伤的心灵至今还在流血,还在疼痛!这是死者的恨,生者的耻!

日本政府最近也终于承认了强掳中国人的事实,但遗憾的是还没有真正的诚意。并且,日本政府在1972年的中日联合声明中,认为中国方面放弃了政府的赔偿请求权的同时,也放弃了民间(通过司法手段)的赔偿请求权。这是悖逆世界潮流的想法。这样做是践踏了那些被强掳而折磨致死的劳工的人格尊严。为了讨回在日本侵略战争中牺牲同胞的民族尊严,讨回历史的公道,伸张社会的正义,人和人之间必须具有真正的相互信赖、相互尊重的关系,否则是无法进行真正的交流的。

不努力解决中日战争遗留问题就无法展望真正的中日友好的未来。

问题解决的关键还是在日本政府和日本的加害企业，特别是日本政府的责任重大。即便是在 1972 年中日两国恢复邦交时在两国政府间发表的“中日联合声明”中，还有 1995 年的“村山谈话”中，日本政府对过去的侵略战争曾经表示了反省，但我们希望不光是停留在口头上，也应该用实际行动来加以证明。

祭奠中国人牺牲者的亡灵，讨回历史公道，不让历史悲剧重演，为此要向下一代说明历史真相，这样做是在这时代的所有中国人的基本使命，也是历史义务，有责任把真实的历史告诉下一代，有必要明确地让下一代知道为了解决历史问题必须做些什么。中日恢复邦交，已经近 30 年了，可是距心灵创伤的痊愈还有很长很长的路程，也可以说这些历史问题是将近一个世纪时间日本对中国的侵略而造成的后遗症。一朝一夕的努力是无法消除这个隔阂的，但只要日中双方坚持不懈地努力，展望未来是十分有可能的。花冈和解，西松和解就是对展望的一个启示。求大同存小异，顾全大局，完成历史赋予我们的使命和任务。

日本社会越来越右倾化，我们不能无视那些反华势力的抬头。在这样的情况下，劳工索赔的前景绝不容乐观。为了解决历史遗留的问题，更需要 10 年、20 年甚至是半个世纪的时间也说不定。因此，更需要长期战略性的视点。现在，最重要的是绝不能阻绝战争受害者的声音。中国战争受害者的控诉呼声只要不灭，继续出现的话，就能向日中两国人民敲响警

钟。所以,战争受害者的后代有必要担此重任。强化团结,培养接班人,并且,为了把这种侵略战争的受害情况,变成中国社会的集体记忆牢牢记住,还要继续所有的行动。结果很重要,但过程更重要。在这个运动中,获得了多少日本友人的协助,培养了多少中国的接班人,大家的意识有何种程度的上升,这些都是观察活动成果的重要指标。要是中日两国间能够真正解决历史问题的话,那是在强固中日友好关系的基础上,迄今为止有重大历史意义的贡献吧。

历史的事实是任何人也篡改不了的。日本政府和加害企业必须深刻反省认罪,向所有中国人受害者谢罪赔偿。否则,日本军国主义所欠下的中国人民的血债将永远存在。

民族尊严不可辱,死难的人不能再生,留下的生者要为他们伸张正义。为了恢复失去的民族尊严和做人的尊严,不让无数同胞的血白流,我们呼吁所有的国内外的同胞,团结一致,用人类的睿智,追究日本政府和加害企业的历史罪行,以讨回历史之公道和正义。

我们这一代的中国人应该继承和发扬中华民族的爱国主义传统,要对得起先人,对得起后人,千万不能给后世留下一笔糊涂账,留下历史的遗恨。

## 犠牲者の憎しみ、 残された家族の怒り

旅日華僑中日交流促進会秘書長 林伯耀

昨年5月、胡錦涛国家主席が訪日し、福田康夫首相(当時)と会談後、日中両国政府間の「日本中国間での戦略互惠関係強化の共同声明」を発表した。その中で、「両国とも歴史と真つ向から向き合い、未来に向かって、日中戦略互惠関係を作り上げる。また相互理解と相互信頼を強め、世界発展の流れに両国の相互利益の発展を一致させ、共にアジア太平洋地区並びに世界の明るい未来を切り開いていく。今後の日中関係の基礎を強化する」と表明している。両国が今後も友好関係を保つ上で、各国の首脳が歴史と正確に対峙する必要性を認めなければならない。

4万人の中国人が日本の135カ所の事業所へ強制連行された。そのうち7千人強の中国人が日本軍国主義者の酷い虐待と非人道的な待遇を身に受け、異国の地で死を迎えなければならなかったのだ。どれだけ多くの人が親を亡くし、妻や子どもから引き離されたことだろうか。残された家族が受けた傷は未だに癒えず、悲しんでいるのである。このままでは犠牲者の、そして残された家族の怒りは決しておさまるまい。

日本政府は最近やっと中国人強制連行の事実を認めたが、誠心誠意が見られないことは遺憾である。それに、日本政府は1972年の「日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明」の中で、中国側が政府賠償請求権を放棄したと同時に民間(司法手段を通しての)賠償請求権を放棄したとの考えを表明した。これは世界の動きに反する考えである。放棄したとすれば、あの強制連行され苦しみながら亡くなった労務者たち



の尊厳を踏みつけることになる。日本侵略戦争中に犠牲になった方々の尊厳を回復させるために、公正を取り戻し、社会に正義を広める、これには人と人の間に真の相互信頼、相互尊重がなければ、真の交流を深めていくことは不可能である。日中戦争で生じた問題を解決せずして今後の日中友好発展は望めないのである。

問題解決の鍵はやはり日本政府とその加害者企業である。特に日本政府の責任は重大である。1972年国交回復の際日中両国が発表した「日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明」や、1995年の村山対談で、日本政府は過去の戦略戦争に対し反省を表明したとしているが、中国側としては口だけではなく、具体的な行動によりその反省を証明するべきだと考える。

中国人犠牲者の御霊を供養し、公正を取り戻し、この悲惨な歴史を繰り返さない。そのために今後の世代に歴史の真実を伝えることが今の時代を生きるすべての中国人の使命、義務と考える。歴史の真実を次の世代に伝える責任、次の世代に過去の問題を解決すべく必要なことは何かを明確に知らせる責任がある。日中国交が回復し、30年近く経つ。しかし、中国人と日本人が心を通わせられるようになるまでの道のりはまだまだ長い。一世紀近くも続いた日本の侵略でできてしまった後遺症とも言えるだろう。わずかな努力でこの溝を埋めることはできない。しかし日中双方がたゆまず努力を続けるなら、今後可能性が十分にあると言えるだろう。花岡和解、西松和解はその一例である。小異を残して大同につく、大局を念頭におく、そうしながら過去の問題を解決することがわたしたち中国人の使命であり任務と考える。

日本社会がますます右寄りになっており、反中勢力派を無視することはできない。そのような状況下で、中国人労務者の賠償請求の見通しはあまり好ましくない。歴史の残した問題を解決するために、さらに10年、20年または半世紀の時間を

要するかもしれない。それゆえ、長期戦略性の視点がますます必要になってきている。現在、最も重要なのは戦争被害者の声を決して絶やさないことだ。彼らの訴えが絶えることがないなら、日中両国民に警鐘を鳴らすことができる。そのため、彼らの子供たちがその責任を担っていく必要がある。団結し、後継者を育てるべきである。そして、この侵略戦争の被害状況を中国社会の記憶とさせ、しっかりと覚えておくために行動が引き続き求められる。結果も重要であるが、過程は更に重要である。この運動の中で、どのくらい日本の方々の協力を得られるか、どのくらい中国の後継者を育てることができるか、みな意識がどの程度上がるか、これらは活動成果を計る重要な指標である。もし日中両国が過去の問題を本当に解決できるならば、それは強固な日中友好関係の基礎の上で、歴史的に意義のある貢献と言えるだろう。

誰にも歴史の事実を変えることはできない。日本政府と加害者企業は深く反省し罪を認め、中国人被害者すべてに謝罪と賠償をすべきである。さもなくば、日本軍国主義が犯した中国人への血の責務は永遠に消え去らないであろう。

中国人としての尊厳を辱められてはならない、殉難した人たちは生き返らない、それだからこそ残された者たちが彼らのために公正を取り戻すのだ。損なわれた中国人としての、また人としての尊厳をとり戻し、無数の同胞の流した血を無駄にしないために、一致団結し、英知をもって、日本政府及び加害者企業の犯罪行為を追及し、過去の損なわれた公正と義を取り戻そうと中国内外の同胞に呼びかける。

今の世代の中国人は中華民族の愛国主義伝統を継承、発揚し、先人の期待に応え、後人に申し訳が立つように、歴史の遺恨、曖昧さを残さないようにすべきである。

即将推出书籍

田中宏先生关于二战劳工、战后遗留问题的论文、历史资料、活动纪实以及寻找日本外务省报告书历史依据的经历等文章。

内田雅敏律师关于二战劳工、战后遗留问题以及关于靖国神社、论文、法律依据等的文章。

林伯耀先生关于二战劳工、战后遗留问题、历史资料及活动纪实等。

林伯辉先生搜集的有关二战资料的经历、保存的横滨国际法庭关于花冈劳工当年的审判记录等。

日本市民、华侨、中国各界参与花冈纪念活动记述。

花冈当地资料的收集、历年的祭奠、当地市民立碑的经过、当地纪念馆的建成、几十年的活动记述。

枣寺专辑。

花冈受难者及遗属证言。

1985 年至今纪念花冈事件活动的写真集。



吾文工作室

OUR CULTURE STUDIO

# 目 录

历史的真相 .....	1
开幕词 .....	吉田文堯 35
致辞 .....	持田日勇 37
致辞 .....	小野塚幾澄 41
共同慰灵活动上的致辞 .....	崔天凯 43
以史为鉴 紧密携手 .....	郭长江 47
汇聚力量 浇灌中日友谊之花 .....	学诚 50
高金素梅立法委员的致辞 .....	57
把悲痛化做愤怒， 把愤怒化做争斗的力量 .....	墨面 59
遗属代表乔爱民讲话 .....	79
安息吧！惨死在日本的先辈们 .....	周长明 81
闭幕词 .....	山田俊和 86
请愿书 .....	88
赴日参加活动的几点体会 .....	蒋光礼 96
花冈祭 .....	刘文田 99
东京活动之感想 .....	潘加胜 102
东京活动之感想 .....	梁树昌 106
名录墙下的呼唤 .....	李曼曼 110

慰灵之行 .....	韩建国	113
赴日悼念之感言 .....	徐光玉	118
参加在日祭典活动的体会 .....	王水华	123
同日本政府及企业斗争交涉 的体会和感想 .....	赵巧茹	126
东京之行 .....	王洪杰	132
东京行 .....	张忠杰	134
中国劳工殉难者慰灵法会 .....		137
“祈祷世界和平·中国 在日殉难劳工慰灵法会” .....		141
慰灵法会午宴 .....		153
上野公园演讲活动 .....		163
芝公园祭典活动 .....		171
“海峡两岸中国人交流会” .....		185
交涉和请愿游行 .....		193
闯入靖国神社 .....		205
媒体报道 .....		209
“为被强掳中国人殉难者慰灵 及讨回公道的八月行动”报告 .....		219
遗骨发掘 60 周年 ——“八月行动”的立足点 .....	田中宏	229

# 目次

歴史の真相 .....	20
開幕の辞 .....	吉田文堯 36
挨拶 .....	持田日勇 39
挨拶 .....	小野塚幾澄 42
共同慰霊活動における挨拶 .....	崔天凱 45
歴史から学び 手を取り合う .....	郭長江 48
共に日中友好の花を育てよう .....	学誠 53
高金素梅立法委員の挨拶 .....	58
悲しみを怒りに、 怒りを闘う力に .....	墨面 68
遺族代表喬愛民のお話 .....	80
日本で惨死した先輩たち 安らかにお眠り下さい .....	周長明 83
閉幕の辞 .....	山田俊和 87
請願書 .....	92
日本慰霊式典に参加しての感想 .....	蔣光禮 97
花岡祭 .....	劉文田 100
東京活動の感想 .....	潘加勝 104
東京活動の感想 .....	梁樹昌 108
名前の刻まれた壁、 その下から呼ばれる声 .....	李曼曼 111

慰霊祭典活動 .....	韓建国	115
日本での慰霊祭典 .....	徐光玉	118
に対する感想の言葉 .....	徐光玉	120
日本での慰霊祭典に参加して .....	王水華	124
日本政府並びに企業との 闘争交渉に対する感想 .....	趙巧茹	129
東京での活動 .....	王洪傑	133
東京活動 .....	張忠傑	135
中国労務者殉難者慰霊法要 .....		139
「世界平和祈願・中国人 俘虜殉難者慰霊法要」 .....		141
慰霊法事での食事会 .....		153
上野公園内での演説活動 .....		163
芝公園内での慰霊祭典 .....		171
「海峡兩岸中国人交流会」 .....		185
交渉と請願デモを行う .....		193
靖国神社へ闖入 .....		205
メディア報道 .....		209
中国人強制連行殉難者 のための慰霊と公道を求める八月行動報告 .....		224
遺骨発掘 60 周年 ——その立ち位置 .....	田中宏	231

# 历史的真相

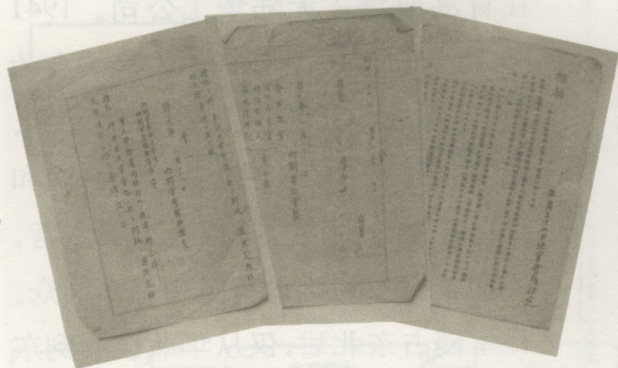


1942年11月27日，日本内阁会议通过《关于向国内移进华人劳工事项的决定》

——美国国立公文书馆藏

1942年11月27日，日本内閣會議で決定された《華人労働者内地移入に関する件》

——アメリカ国立公文書館收藏



1944年2月28日，日本次官会议作出的《关于促进华人劳工移进国内事项的决定》

——美国国立公文书馆藏

1944年2月28日日本次官會議で決定された《華人労働者内地移入の促進に関する件》

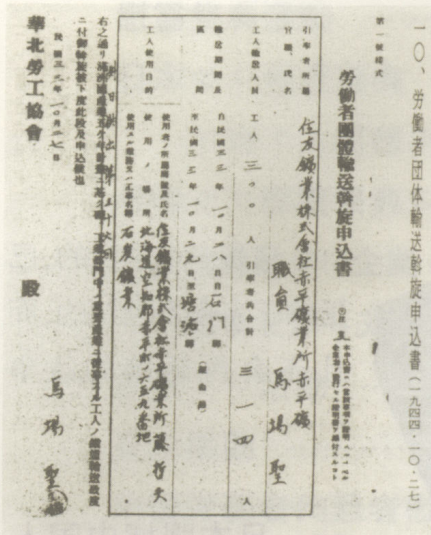
——アメリカ国立公文書館收藏

这是一个悲壮的、已延续了半个多世纪的、而且还会再延续的故事……

## 一 日本强掳中国人

第二次世界大战期间，日本军国主义为实现其称霸亚洲、称雄世界的野心，对中国和其他亚洲国家发动了大规模的侵略战争，其中尤以中国受战争之害最为严重。日本侵略者极力推行“三光政策”，其所到之处，不仅疯狂地掠夺中国的物产资源，而且通过种种残酷、卑鄙的手段，疯狂地掠夺中国的劳动力资源，大肆强掳中国抗日军民和无辜百姓为日本充当



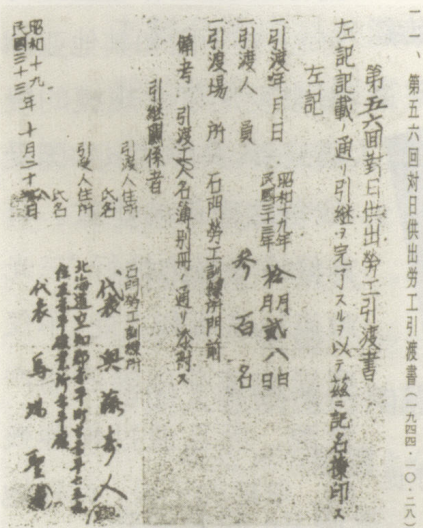


《劳动者团体输送斡旋申请书》

《労働者団体輸送斡旋申込書》

劳工,从事无偿的劳役,施以非人的待遇,造成众多中国人的死亡和残疾,给无数个中国家庭带来了巨大的灾难。

1931年,日本发动九一八事变,侵占中国东北三省,建立了伪满洲国。1937年7月7日,发动“卢沟桥事变”,开始了对中国的全面进攻。依据“以战养战”的日本战时基本国策,为了大量掠夺中国的资产和劳动力,为其侵略战争服务,日军于1938年6月在北平成立新民会劳工协会,在青岛成立了山东劳务福利局,在济南成立了山东劳务公司等半官半民的搜刮劳工的机关。1939年2月,日军又在青岛成立了大陆华工公司。1941年7月,日本侵略者将上述机关合为一体,组成华北劳工协会,并在北平、塘沽、石门(今石家庄)、太原、济南和青岛等地分别设立战俘劳工集中营,关押了众多的抗日军民和无辜群众。日本侵占东北后,仅从华北强掳到东北的劳工就多达800万人,在煤矿、港湾及军事工程等地从事苦役。



《对日本供出劳工引渡书》

《日本への供出労働者引渡書》

随着战争的升级,日本国内劳动力出现严重不足。为解决这一矛盾,